

三菱アーティキュレートダンパ M26

アーティキュレートダンパは、狭あい地、不整地における機動性の良さで国内でもトンネル工事向けに導入普及している。

当社相模原製作所ではトンネル坑道内でのずり運搬用として、排気ガス規制をクリアしたトンネル専用車を開発したので概要を紹介する。

1. 仕様

外観を図1に、主要寸法を図2に、黒煙除去装置を図3に、主要諸元を表1に示す。

2. 特徴

(1) 黒煙除去装置の装着

- エンジンの排気ガスを浄化する、当社独自開発の自動燃焼システムを備えた黒煙除去装置を標準装着している。この装置は、セラミックフィルタにて排気ガス中の粒子状物質を捕そくし、浄化された排気ガスを排出するが、フィルタ内部に一定量の粒子状物質が蓄積されると、自動的に燃焼させフィルタを再生する装置となっている。

(2) 排気ガス認定エンジンの搭載

- 建設省指定トンネル工事用排出ガス対策型認定エンジン三菱6D24T-E1型を搭載し対応している。

(3) 小さな旋回半径の確保

- 第3軸アクスルを持上げ、トランスバース機構を採用し、小さな旋回半径を確保し狭いトンネル内での方向転換を容易にした。

(最小旋回半径：6.0 m, トランスバース未使用時：7.0 m)

(4) 優れた走破性

- トラクタ部とトレーラ部を連結するセンタピンにより、車体の前後が揺動できるオシレーション機構と、トレーラ部のAフレーム式ハイドロフレックスサスペンションにより、不整地でも常に全輪が接地し、大きなけん引力が得られる。

(5) 高い安全性

- サービスブレーキは、前後独立2系統の乾式ディスクブレーキの採用により耐久性、安全性が高い。
- 排気ブレーキは、坂道降坂時の連続制動に威力を発揮し、サービスブレーキ多用によるブレーキパッドの摩耗を防ぐ。
- エマージェンシステアリングシステムを標準装着しているので、エンジン停止時にもステアリング操作ができる。
- 後方の安全確保のため、バックアイテレビも装備されており、運転席内にて後方の安全を確認できる。

(相製 車両・機器技術部車両・機器設計課 大谷)
☎ (0427) 61-1981

本社営業窓口 汎用機事業本部建設機械部一般建機課

☎ (03) 3212-9690



図1 外観

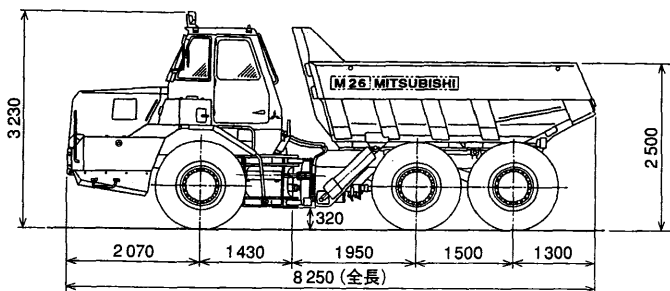


図2 主要寸法

表1 主要諸元

重量	最大積載量 (kgf)		20 000	駆動形式		6 × 4	
	車両重量 (kgf)		18 400	エンジン	名 称 総排気量 (l) 定格主力 (PS/rpm)	三菱 6D24T-E1 11 945 260/2 200	
寸 法	全 長	(mm)	8 250	ミッション トランス	名 称 形 式 変速段数	6 WG 200 型 電子制御式全自動変速 F 6, R 3	
	全 幅	(mm)	2 495		ア ス ル	リダクション ファイナルドライブ	ハイボイドギヤ フルフルート遊星歯車式
	全 高	(mm)	3 230				
	軸 距	(mm)	4 130				
	輪 距	(mm)	2 000				
最低地上高	(mm)	320	タイヤサイズ		17.5 R 25 (チューブレス)		
ベッセル	山 積 容 量	(m³)	13	ブレーキ	サービスブレーキ 駐車ブレーキ	前後独立 2 系統、 全輪乾式ディスク 推進軸制動ディスクブレーキ	
	平 積 容 量	(m³)	10.5				
	積 込 み 高 さ	(mm)	2 500				
	最大ダンプ角度	(度)	60				
走行性能	最 高 速 度 (空車時)	(km/h)	44				
	最小旋回半径 (トランスバース使用、車体最外側)	(mm)	6 000				

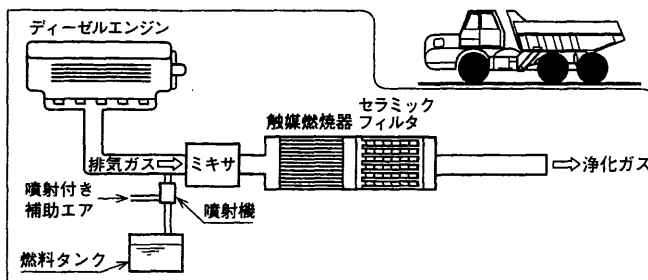


図3 黒煙除去装置